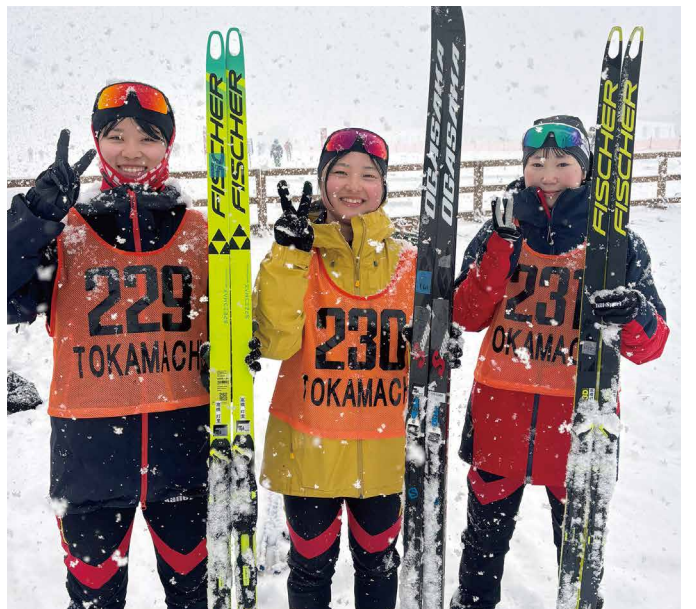


議会だより



- グリーンバレー神室振興公社解散 …… 2
- 一般会計予算に付帯決議を付す …… 4
- 町政を問う(5議員) …… 7



金山町緑の憲章
ロゴマーク

金山町議会の最新情報はこちら▶

山形県金山町議会 検索

編集 © 議会広報常任委員会



※表紙の説明は12ページ

グリーンバレー神室振興公社解散

～清算にかかる経費3000万円を計上～

3月定例会が6日から13日まで開催され当初予算の審議を含む35件の議案を全員賛成で可決した。公社の解散に伴う清算は、出資割合に応じJR東日本が49%、町が51%の負担となる。

町長施政方針要旨



基本的な考え方として、町民の皆様が将来への期待を寄せ、次の100年を見据えた施策展開には、健全な財政運営が不可欠です。町の魅力や活力、何よりも町民生活が向上するよう諸事情を十分認識のうえ予算編成にあたり、町の現状と課題を踏まえ、将来に繋がるベースとなる重点推進施策としては、1.健康長寿、2.町民所得の向上につながる産業の振興、3.交流の推進による関連産業の振興、4.次世代につながる景観運動、5.安心安全な生活環境の確保、6.経済情勢に応じた支援拡充、7.金山版DXの推進、8.地域・地区・企業・団体における人材育成の強化、9.地方創生2.0の推進の9点を重点的に推進し、将来に向け活力あるまちづくりの事業展開を図っていくための予算を盛り込んだ。

3月議会定例会提出議案

※当初予算関連はP4へ

1. 町長提出議案

議案番号	議案名
議第5～6号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第12号)(第13号)の専決処分の承認について
議第7号	令和7年度金山町一般会計補正予算(第14号)
議第8～12号	令和7年度金山町特別会計補正予算 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・水道事業・下水道事業
議第13号	金山町林業後継者活性化センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の設定について
議第14号	金山町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の設定について
議第15号	金山町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第16号	金山町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議第17号	金山町みらい留学学生寮設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第18号	金山町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
議第19号	金山町下水道条例の一部を改正する条例の制定について
議第20号	金山町水道給水条例の一部を改正する条例の制定について
議第21号	金山町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第22号	金山町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について
議第29号	金山町過疎地域持続的発展計画の策定について
議第30～33号	漆野・中田・田茂沢・有屋辺地に係る総合整備計画の策定について
議第34号	金山町公の施設の指定管理者の指定について
議第35号	併用林道申請について
議第36号	財産の無償譲渡について
議第37号	新庄市との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について
議第38号	金山町公文書公開審査会委員の任命について

2. 議員提出議案

議案番号	議案名
発議第1号	議第23号 令和8年度金山町一般会計予算に対する付帯決議

議案への 質疑応答要旨

【議第7号 令和7年度金山町一般会計補正予算(第14号)】

中村忠行議員 振興公社解散の段階での財産購入費とは。また解散にあたる業務を担うのは、公社職員か町職員か。

総合政策課長 町は公社の財産を一旦購入し、新しい指定管理者に貸し付け、または譲渡することを考えている。

公社解散に関する業務は専門家の力を借りながら、公社職員が行うこととしたい。

町長 民間の力で少しでも効率化を図ることを期待し町民への説明をしたいと考えている。

須藤典夫議員 振興公社の有価証券はどうなっているのか。資産運用や業務に関しては社長である町長に責任があると考え。町の予算から出資金を出し後始末しなければならぬのは致し方ないが、町長自らが説明をし報酬の減額も考えてはどうか。

総合政策課長 町が3750万円、JR分と合わせて7500万円の有価証券があるが、年度末で資産はゼロとなっており、清算が終わった時点で権利を放棄する形になる。

町長 公社を解散するにあたり、当然責任は感じている。今回方向転換をし、新しい展開で歯止めをかけるやり方も責任の取り方の一つとらえている。また、特例減額の提案を準備しているところである。

大場洋介議員 自治体管理システムの標準化に関する委託管理事業の減額補正の内容は。また、将来的なIT専門人材の確保は。

総務課長 当初予算7000万円です。上したが、5800万円を完了したため減額補正となった。すべて国からの予算で対応している。専門的知識の人

材を確保するのは難しく、育成するにもコストがかかる。小さい自治体では外部委託にならざるを得ない。

【議第5号 令和7年度金山町一般会計補正予算(第12号)の専決処分の承認】

大場洋介議員 2月5日に災害救助法の適用を受けたことにより対象となった世帯数や、除排雪等の状況は。

※P10に関連質問

町民税務課長 健康福祉課で町内全域を巡回し、民生委員の意見をもとに該当する19件の物件を確認したところ、町の助成金を活用し雪下ろしが完了しており、災害救助法に該当する被害は発生していないと認識している。

【議第32号 田茂沢辺地に係る総合整備計画の策定について】

須藤典夫議員 策定の内容は。

総合政策課長 今後5年間の策定内容は、農業施設として大規模ほ場整備負担金、道路施設として町道金山田茂沢線の防護柵設置工事と県道稲沢下野明線の負担金を計画している。

【議第35号 併用林道申請について】

大場洋介議員 町道外沢線の併用林道申請に至った経緯と地元への応は。

環境整備課長 令和6年度の集中豪雨による災害時に森林管理署より協定締結の打診があり申請に至った。これまでに国有林側と町道側をそれぞれ個別に管理してきたが、重複している部分は協定がない状態で維持管理水準も異なり、意見の相違もあった。協定が締結されれば、早く事業が進むことになり地元も好意的である。

【議第37号 新庄市との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について】

中村忠行議員 「デジタル化の推進」にはデータ管理の標準化整備が重要と考えるが現状は。

総務課長 定住自立圏でのDX推進は、個別の事業ではなく、圏域内の首長や職員がAや人材育成などの共通の研修に取り組みイメージである。データ管理に関するファイル規則については、今後検討するものとして担当の方で認識している。



一般会計予算に付帯決議を付す

地区振興事業 五十嵐優一委員

地区交付金の新たな算定方式への変更は。

問 地区交付金の新たな算定方式への変更は。

答 総務課長 総務課長 現行制度の8プラス1項目を5プラス1項目(防災放送設備適正管理割1万円と町道維持作業燃料代1万円を一般行政事務、地区応援割を普通時割へ)にまとめる。

地区振興交付金の均等割は、普通時割の8万3千円を12万円(地区応援割3万円と新たに防災対策や雪対策等の共助7千円)、全町美化活動割の2万円を3万円に増額。

世帯割は、普通時割の2千円を3千円(地区応援割800円と新たに防災対策や雪対策等の共助200円)に増額。

〔議第23号 令和8年度金山町一般会計予算に対する付帯決議〕
中央公園整備事業について、基本設計後、実施設計までの間、町民への説明期間を十分に確保し、理解を十分に得ながら進めることが求められること、あわせて、新設施設の整備に際しては、金山町公共施設総合管理計画を再度精査し、必要な変更を検討したうえで、既存施設が未活用となることのないよう十分配慮して進めること。
※POに関連質問

農業担い手支援事業は 宮林聡志委員

問 新規就農者確保対策事業は町単独事業・補助事業か。期間途中でやめた場合の返還は。

答 産業課長 対象者を2名と想定し、2百万円を計上した町単独

公的住宅の適正管理 星川智子委員

問 七日町団地の水道料金を口座振替にすることについて課長からは検討すると回答あった。町長は認識していたのか、改善はいつするのか。大変な集金も出納室長のねざらいで報われたそう。今後も町民への声かけをお願いしたい。

答 町長 詳細は承知していなかったが改善策としては自動引き落としが一番だと思うが、銀行との調整が課題であり数か月を目標に進めていきたい。

公営住宅の課題は様々あり、全部対応できているとは言いが切れない。できるだけ改善できるよう今後も努めたい。

その他の質問
●昭和ミニレトロ館整備事業 ●町有財産維持管理事業 ●道の駅可能性検討委員会謝礼 ●グリーンバレー神室運営費(修繕費、ベルトコンベア設置工事、ホットハウスカム口改築工事) ●地域振興施設

金山町育英会運営事業 中村忠行委員

問 町の育英資金免除制度に公務員も対象にしては。

答 教学課長 育英資金の公務員を対象としないという内容は、運営委員会で議論を尽くした。周りの他自治体の状況を確認したが公務員は対象にしていない。

問 他町村でやってないからやらないという論法では人口減少対策は進まないのでは。

答 町長 運営委員会と育英会の理事長としては、今時点でするという考えに至っていない。新年度に運営委員会で賛成が上回れば考えたい。特に役員職員の応募が最近少ないことから運営委員会で再度議論して判断したい。

その他の質問
●中央公園整備事業 ●公的住宅の適正管理

道の駅可能性検討委員会は 須藤典夫委員

問 中央道が完成したらかなり大きく影響する。町も生活の変化が予想される。事業提案の「建設を前提としないが、可能性を検討する。」という表現は、前向きな検討と理解してよいか。

委員会ができたということ、本当に良かったと思ってる。

答 町長 「可能性検討委員会」は、かなり練った表現にした。

建設の方向に向くということはあるかもしれないが、その前にフラットな状態で検討させていただく。

その他の質問
●グリーンバレー神室費(指定管理、ベルトコンベア) ●再質問(ゼロカーボン)



三枝地区の自主防災訓練



大場 洋介
予算特別委員長

令和8年度の町づくりに使われる一般会計、3つの特別会計及び2つの事業会計を合わせた6会計の各予算について審査する特別委員会を設置して審議した。委員長は大場洋介委員、副委員長に五十嵐優一委員を互選し、各委員が総合発展計画に掲げる町の将来像である「みんなが主役、みんなの故郷、金山町に住んでよし、訪ねてよしのまちづくり」を予算編成のテーマとし、一般会計予算の総額が前年度比7.3%増、54億3千万円となる拡大予算の重要事項や現状と課題への対応を資した。

問 行政事務委託の在り方は。

答 総務課長 町がお願いしている事務は生活環境事務を除きすべて廃止。教学課の青少年係と文化係を統一して青少年文化係とする。

連動した行政事務交付金は、均等割4万円を8万円(4事務の2万円、地区振興交付金2万円)、世帯割の300円を500円に増額し、一括して同じ水準の額を確保する。

その他の質問
●下水道事業運営費補助金(農業集落排水事業分) ●農業経営支援事業費補助金 ●社会福祉協議会支援事業 ●シニアプロモーション推進事業

半たわみ性舗装

寒河江宏一 委員

問 半たわみ性舗装は景観上重要である。冬の管理を見ると傷みが激しく、夏場に砂利が家まで飛んでくる。昨年6月、町道の半たわみ性舗装について「維持修繕するか、アスファルトにするか方向性を決める」という答弁だったがどのように検討が進んでいるのか。

答 環境整備課長 今年度からアスファルトに戻す場合について景観審議会に諮り進めたい。半たわみ性舗装の改良ということで、ふるせ電機さんから永山設備さんまでの路線を改良する予算を計上している。

その他の質問

●スクールバス運営事業(小中学校通学費助成金) ●町営住宅の家賃支援事業、雪下ろし費用支援補助金、譲渡 ●各種団体への補助金

多様な政策・施策

沼澤道也 委員

問 シティプロモーション推進事業の3年後の成果は。町として事業に取り組み目標は。

答 総務課長 金山の魅力を高める具体的な計画を作る。事業の目標は、交流人口・関係人口の拡大。広報と観光部門をまちづくり課として一つに集め、どのように展開できるかを検討する。



金山お土産づくりプロジェクトに取り組んだ皆さん

問 適時適育は、激動の中でどう変わり、新しい変化にどう対応するのか。

答 教育長 中学3年の全国学力学習状況調査の結果はいい水準であった。確かな学力と社会を生き抜く力が必用であり、起業家精神の育成と金融経済教育をつの突破口にしたい。

その他の質問

●農業振興(担い手育成) ●一般会計の歳入(繰越金・基金等) ●スキー授業等神室の活用

フロントヤード改革整備事業・広域DX

栗田保則 委員

問 業務を集約するフロントヤード改革の事業内容は。

答 総務課長 役場OAフロア化の実施設計等業務委託が492万3千円。OAフロア化事業は、床の中に配線を通す工事。フロントヤード改革改修工事は、窓口・職員のスぺースの事務机と配置などの変更。入札や工事など、共通する業務を集約して効率化を図る。

問 広域で検討する内容は

答 総務課長 要介護認定のペーパーレス化を予算化している。有害鳥獣、その他の広域的に同じ内容で進められることを検討している。

その他の質問

●工場誘致対策事業 ●鳥獣対策事業



おおば ようすけ 大場 洋介 議員

国の制度・法改正に伴う町民への影響は

大場議員 国の公立小学校の給食無償化に向けた新制度により、町独自の施策拡充の見解は。

町長 少子高齢化の中、次世代を担う子ども達への支援として、医療保険加入者全員が対象となり、一人当たり平均月額約2500円となる見通し。最上地区広域連合においても、軽減策を検討していく。

大場議員 医療保険加入者に乗せ徴収される「子ども・子育て支援金制度」※について町の認識と負担軽減策への対応は。

町長 新たな避難警戒レベルや避難情報発令のタイミングについて修正している。住民の方々が確実に避難行動に繋がる誘導体制の強化等更に防災意識を高める。



出典：政府公報オンライン https://www.gov-online.go.jp/article/202410/entry-6604.html

大場議員 新たな防災気象警戒レベルの併記に伴う、防災意識や対応は。

町長 新たな避難警戒レベルや避難情報発令のタイミングについて修正している。住民の方々が確実に避難行動に繋がる誘導体制の強化等更に防災意識を高める。

問 きめ細やかな周知徹底と負担軽減を関係機関と連携し対応や軽減策を検討

大場議員 自転車の交通違反に対する反則金を科する制度導入による交通安全教育の強化は。

町長 交通安全教室の開催に向けて関係機関・団体と連携し、実践的な指導や高齢者の実情に合った啓発活動に取り組む。

一般質問

町政を質す

ただ

大場 洋介 議員

①社会経済情勢の大きな変化について

須藤 典夫 議員

①グリーンバレー神室指定管理者の事業計画は

中村 忠行 議員

①物価高騰から町民生活を守り、人口流出を食い止めるための緊急支援について

五十嵐 優一 議員

①空き家等対策について

星川 智子 議員

①議会報告会などの町民の意見から質問する

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは報告や説明を求めるなどの政策議論の場である。

町議会では、質問要旨を事前に通告することし、限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。

※子ども・子育て支援金制度とは？ 少子化対策の財源として、医療保険料に上乗せし、社会全体で子育てを支えるしくみ。



すとう のりお 須藤 典夫 議員

頼むよ共同事業体

須藤議員 グリーンバレー神室一帯施設等の指定管理者がプロポーザルで提案した事業計画の内容は。

産業課長 指定管理者は(株)ライズ・(株)大平ホテル。地元の協力企業として(株)有屋建設、(農)金山ドリームフアーマーズの事業者となっている。

事業方針は季節性を活かしたサービスを展開し他施設との差別化を図り、町内事業者や周辺観光地と連携しエリア全体の利用拡大を図る。今後も町民の皆様が親しまれ、観光振興と地域活性化に寄与する施設運営に努めていくという計画になっている。

指定管理料は5年間で総計4億3015万円の計上であり、令和8年度は8865万円で毎年1・5%程度の減額見込みとなっている。



いがらし ゆういち 五十嵐 優一 議員

経緯は、「連絡が取れない空き家のトタンが飛んでくる危険」という質問への対応から

五十嵐議員 空き家の実態把握、対策の実施体制と方針は。

町長 所有者及び管理者を特定し、今後の利用や除去予定のアンケート調査を実施した。現地踏査を行い、老朽度及び危険度の高フランクに対し、適正管理の依頼と共に注意喚起を通知した。

空き家数は128件。うち、住宅が115件で、危険度が最も高いDランクが19件。その他小屋・店舗等が13件で、Dランクが1件となる。今後は、空き家のカルテを作成し、データベース化による迅速かつ正確な対応を進める。

問 指定管理料は高いのでは
答 適正範囲と考える



賑わいをみせる産業まつり

問 議会報告会での「空き家対策」は
答 空き家の解体、除去の更なる推進

具体的な対策は

五十嵐議員 管理不完全空き家及び特定空き家への対応は。

環境整備課長 管理不完全空き家の発生抑止となる修景形成助成事業は、件数60件、助成金2926万9000円と解体に寄与した。令和8年度に制度改正を予定し、所要件の廃止及び不良度に応じた100点以上の住宅への補助上限額を70万円から100万円に拡充する。



なかむら ただゆき 中村 忠行 議員

住宅支援の拡充は

中村議員 資材高騰による建築費上昇を踏まえ、「金山住宅」を守るためにも、助成上限額引き上げの考えはないか。

町長 建築費は継続的に高騰しており、これまで段階的に支援を拡充してきた。一方で単年度の支援では効果は限定的であり、中長期的視点で施策を検討する。

生活支援(燃油券・水道減免)の考えは

中村議員 即効性のある生活支援を実施すべきではないか。

町長 商品券配布を優先し、各家庭のニーズに応じた支援を図る。水道料金減免は公平性の課題もあり、今後の動向を踏まえ検討する。

問 物価高騰から町民生活を
答 中長期的視点で施策を検討

町外高校通学への支援は

中村議員 新南金山校生には通学費支援を行っている。町内高校生に通学定期代助成の新設を。

教学課長 金山校存続とのバランスを踏まえ、慎重に検討する。



山形県立新庄神室産業高等学校金山校



はしかわ さとこ 星川 智子 議員

ガソリンスタンド併設を

星川議員 議会報告会でガソリンスタンドを併設した道の駅を作ってはどうかという意見があった。町で唯一のガソリンスタンドの存続を心配する声があるが。

総合政策課長 JA金山では昨年消防法に基づき、40年経った地下燃料タンクの補修を行い当面継続可能であるという話であった。町単独で道の駅を作るとなると費用や運営面での課題がある。可能性を検討する委員会を設置し、それに関する予算も計上している。

ホットハウスカムのサウナの充実

星川議員 サウナの充実を要望する声がある。設計はどのように進んでいるのか。

町長 施設全体のランニングコストの

問 道の駅を望む町民の声
答 道の駅可能性検討委員会を設置

低減を目指し、コンパクトなサイズを目指している中でサウナを重視し、現状のサイズを維持している。設計、事業費、財源計画などを慎重に組み立て進めてきたため大幅な変更はできない。一方、細部の工夫や運営面での改善点は、引き続き検討していく。

公共施設の利用は

星川議員 義務教育学校の検討が始まるが、地域振興施設に予定されている学童保育等は学校が数年後にできた際、機能移転する可能性はないか。

教学課長 仮称「金山町小中学校の未来像検討委員会」で義務教育学校にすべきという提案をいただくと、建設には最短スケジュールで、6年かかる。また、これまでの意見交換会から子供たちには地域振興施設の方が相応しいと考えられるため現段階では移転や設置は想定していない。

豪雪による災害救助法の適用は

総務文教常任委員会

問 地域おこし協力隊の募集内容と結果は。

答 令和7年度の協力隊の募集内容は、①金山校の魅力化関連として、学生募集や寮監を行う隊員。②金山杉の木工製品の文化や技術を事業承継を行う隊員、③フリーミッションとして、金山に住んで何かをしたい隊員を募集した。しかし、数件の問い合わせはあったが応募者はいなかった。

問 農村地域と企業の三枝地区マッチング支援事業は。

答 令和8年からの事業で、3月20日に県で中間支援の業者選定をプロポーザルで行いコーディネーター役として地区に入り、その後新たに東京都内の企業等を選定し、年に2、3回の交流がある予定である。地区には4月に説明予定。

問 災害救助法の適用で家屋の応急修繕等で実際に予算は使われたのか。

答 2月5日に災害救助法の適用を受けて、その後被害が発生した場合に対応するための経費として五百二十三万九千円を予算化し、町民の方からの情報をいただき危険な住宅約20件の現場を確認したが、すでに業者に依頼して雪下ろしをされており実際に町が業務を施工したものはなかった。
※P3に関連質問



産業厚生常任委員会

公営・公共住宅の空室解消策は

問 公営・公共住宅の空室が目立つ。特に街なか公営住宅の使用料は本当にこのままなのか。

答 使用料は公営住宅法による算定である。新規事業として子育て世帯の定住促進策を考え、高校生以下の子供がいる場合、子供一人につき5千円を補助し負担軽減に努める。

問 健康づくりと健診・ドックを更に充実させ、診療所の平均外来患者数への増加策は。

答 診療所での事業所健診・高齢者ドック他各種健診も実施し、対象者も増加傾向。健康管理業務を委託し、看護師の派遣等の仕組みをつくる。

問 台湾やフランスからのインバウンド効果策や新庄・最上広域的連携計画は。

答 台湾向けの旅行商品PRを考えている。JALパリ支店を通じて

エージェントの来町を機会に、広域連携の旅行商品を実現したい。



台湾向けガイドブック「金山微本」

問 鳥獣解体施設の改修予定や猟友会からの要望は。

答 ベランダ周辺の改修を予定し、室内が暑いため間仕切りやクーラー設置への意見が出ている。

問 豪雪対策本部設置後の福祉除雪・雪下ろし申請件数や賃金の増加に対する要望は。

答 申請件数は40件。雪下ろし賃金が「現状に合っていない」と意見があり、補助基準単価の引き上げを検討している。

令和7年度 議会報告会 《Part 2》



12/9 有屋地域 (宮地区公民館)



12/8 金山地域 (農村環境改善センター)

町民の意見を町政に反映させるため、12月8日から12日までの5日間、町内5会場で議会報告会を開催した。

意見 先日、公民館大会で川西町「きらりよじま」の事例を聞き、人口減少が進む中で20、30年後を見据えた自治会のある方を考える必要があると強く感じた。現在、多くの地区で役員のなり手不足や活動の縮小が起きている。川西のNPO法人のような形が理想とは言えないが、住民が主体的に参加し、行政と連携して地域づくりを進める仕組みを今から議論し始めるべきではないか。

回答 議会でもこの問題は議論されており、町長も「きらりよじま」の事例を参考にしたいと答弁しています。現状の対策は、タブレット配布による区長の負担軽減など対症療法的なものですが、今後は地域おこし協力隊の力を借りるなど、より抜本的な対策を町全体で考えていく必要があります。一つの集落では限界があるため、

より広いエリアでの連携や「小さな拠点づくり」といった視点も重要です。誰が主導してこの議論を進めるのかという課題はありますが、議会としてもこの問題意識を共有し、将来を見据えた組織形態を考えていかなければなりません。

意見 町が力を入れている新庄「南高校金山校の「みらい留学」制度ですが、今後の展望は。

回答 みらい留学制度は非常に注目されており、今年度の個別相談会には昨年度を上回る49組が参加するなど、関心が高まっています。町の厚い支援が他県からも魅力的に映っているようです。高校の存続は県の判断になりますが、町としては引き続きこの取り組みを支援し、一人でも多くの生徒が金山で学んでくれることを期待しています。

意見 人口減少と高齢化が進んで、空き家が年々増えている。このまま見過ごしておくのか。具体的な案を示さないと空き家だらけになる。ハクビシ

ンや熊が入らないような対策はないのかと調べてみると考えている。所有者がいる場合はまだしも、誰もいなくなってしまう家をどうするのか聞きたい。
※P9に関連質問

回答 空き家対策が一番難しいのは、個人財産であるということです。個人の財産については、他の人は手をつけられない。町としても、危険空き家の解体に対して補助金を出していますが、現状は空き家が増えている状況です。

意見 議員のなり手が不足していると感じる。特に若い世代が議員を目指しやすいように、報酬を上げることも考えるべきではないか。生活の保障がなければ、なかなか手を挙げられないと思う。

回答 議員の定数と報酬については、まさに検討を進めている重要なテーマです。いただいたご意見も参考に、来年度中には一定の方向性を示せるよう、議論を深めてまいります。



12/10 西郷地域 (朴山地区公民館)



12/11 東郷地域 (ビーナッツ工房)



12/12 中田地域 (上中田地区公民館)



小さな学校から大きな挑戦 クロスカントリースキーで町をPR

新庄神室産業高校金山校3年 たかはし あかり
高橋 灯里 さん

この冬、新潟県で開催された全国高等学校スキー大会クロスカントリースキー競技で、金山校スキー部の金丸拓寛君かなまるたくひろがクラシカルで全国優勝を成し遂げました。男子リレーでもチームメイトたちが頑張り4位入賞でき、全国に「金山」をPRすることができて良かったです。全校生徒32人の小さな学校でも全国の舞台上で大きな成果を残すことができました。

町と学校、クロカン強化委員会からの支援、保護者の皆さんや地元金山からの応援団の声援は私たちの好成績の大きな原動力となったことは間違いありません。小学1年生から始めた大好きなスキーが、ずっと続けられる恵まれた環境とたくさんの応援に感謝しています。

チームの活躍の一方で、私にとってはとても悔しいシーズンとなりました。県大会以降に体調を崩す

など、調子が上がらず目標としていた結果を残せずに何度も涙を流した大会がありました。まだまだ実力不足で、普段の練習に取り組む姿勢や自主練習を見直す必要があると感じています。

挫折と悔しさを忘れることなく3年生最後のシーズンで、全国入賞を目標に掲げ、技術とメンタルを磨き、人間として強くなって成長していきたいです。そして、チームみんなで金山校スキー部が活躍することで、支援や応援して下さった方々への恩返しになれば良いと思います。

また、大好きな金山町をPRするため、スキーに限らず、学校活動などでも頑張ります。4月から新しい校名になりますが、金山校とスキー部の応援をよろしくお願いします。

6月定例議会は6月9日(火)～12日(金)の予定です 町民の皆様の傍聴をお待ちしています

- ◎発行責任者
議会 議長 栗田 保則
- ◎議会広報常任委員会
委員 長 星川 智子
副委員 長 中村 忠行
委員 大場 洋介
五十嵐 優一
宮林 聡志

発行◎山形県最上郡金山町議会
〒999-5402
山形県最上郡金山町大字
金山324番地1
TEL.0233-52-2111(内線300)
FAX.0233-52-2004



本号の写真

～雪原を駆け抜けた若きエースたち！
数十年ぶりの歴史的快挙～

今回の議会だより(第146号)の表紙と裏表紙を飾るのは、金山町全体を熱気に包み込んだ、地元高校生スキー選手たちによる感動と栄光の記録です。男子クラシカル競技とフリー競技で個人優勝という数十年ぶりの偉業を成し遂げた若きアスリートたちの姿は、町に大きな希望と明るい話題をもたらしてくれました。今後も先輩たちに続いて小中学生のクロスカントリースキー選手活躍が大いに期待されます。